



ぽれぽれ(Pole pole)
スワヒリ語で
「ゆっくり…」
という意味です

ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第38号
2019.01.01

2019年ご挨拶



理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

※安心・安全ながん医療を提供します
※医療提携を進め、地域医療に貢献します
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

診療案内

内科 脳神経外科 整形外科
耳鼻咽喉科 婦人科 泌尿器科
放射線科 消化器内科
消化器外科 緩和ケア科
乳腺外科 腫瘍外科 腫瘍内科

【診療受付時間】

平日 8:30~16:00
土曜 8:30~12:00

【診療時間】

平日 9:00~16:00
土曜 9:00~12:00

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始

【お見舞い時間】

12:00~20:00



平成31年、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

さて、放射線治療でがんが縮小・消失した患者さんのなかに、極めて稀にですが、放射線を照射されていない遠隔転移（肺やリンパ節）まで縮小・消失することが古くから知られ、アブスコパル効果（Abscopal effect）と呼ばれてきました。この現象はたまたま偶然のようにも思われてきましたが、近年の腫瘍免疫学の進歩によってその機序が解明されつつあり、昨年の放射線腫瘍学会でも取り上げられました。簡単に言うと、放射線で死んだがん細胞から免疫刺激作用のある蛋白やがん抗原が放出され、マクロファージや樹状細胞が吸収することで、がんを特異的に殺す細胞傷害性Tリンパ球が活性化され、離れた部位のがんも攻撃するという事です。言わば、放射線照射による強力な免疫誘導です。以前は、転移があれば放射線治療は行われませんでしたから、滅多に見られなかったのも当然と思われる。放射線治療と免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤も含めて）の併用療法の研究は既に始まっていますが、放射線治療の適応は今後益々増えそうです。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



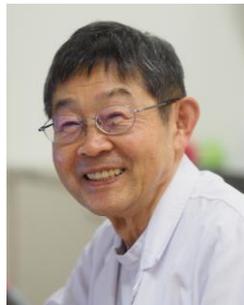
（病院長 中村仁信）

明けましておめでとうございます。

昨年は大阪北部地震や台風の襲来など自然災害が頻発しましたが本年は穏やかに過ごせるのでしょうか。

本年は昨年にも増して地域医療の担い手として、友協会総合病院、阪大病院をはじめとして病病連携、病診連携に職員一同一丸となって携わる所存です。

本年も宜しくお願い申し上げます。



（顧問 宮田徹明）



2019年（平成31年）、新年明けましておめでとうございます。

旧年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に、職員一同心より感謝申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

当院は、本邦では数少ない民間のがん専門病院として、2007年9月に開院し、2010年には緩和ケア病棟の開設認可を受け、がんを患っている患者さんとそのご家族に、主として、放射線治療、化学療法、緩和ケア、リハビリテーションを提供してまいりました。

本年は改元の年であります。開院以来12年となった私たちも、気持ちを新たに、北大阪におけるがん医療の地域完結性に貢献できるよう努力してまいります。



（副院長 後明郁男）





(副院長 杉浦孝司)

明けましておめでとうございます。
 旧年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、
 職員一同心より御礼申し上げます。
 当院はがん専門病院としてがんの再発や転移で苦しむ患者さまに
 放射線治療と化学療法そして緩和ケアの提供を中心に診療しております。
 本年度も近隣の諸病院と連携し質の高い医療を提供できるように
 職員一丸となって努力していく所存です。
 今年も皆様にとって実り多い一年になることを願っております。



新年明けましておめでとうございます。
 昨年7月より医局長になりました高橋正嗣と申します。どうぞよろしくおねがい
 いたします。

昨年は、本庶佑氏がノーベル生理学・医学賞を受賞され、今までがん治療の三本柱
 といわれてきた「手術・放射線治療・化学療法」に加わる四本目の柱として「免疫療
 法」が注目されるなど、がん診療も多岐にわたる時代になってまいりました。

当院では、がんの早期発見をめざす検診・人間ドックから根治的ながん治療、緩和
 ケアまで、がんのさまざまな病期に対応、診療しております。

本年も、更なる研鑽を積み、安全で質の高い医療を提供していきたいと
 願っております。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



(医局長 高橋正嗣)



(看護部長 東村昌代)

新年明けましておめでとうございます。
 2018年は友誼会総合病院の新築移転が
 行われ、更なる連携を深めてまいります。
 昨年は、大阪北部地震に始まり、極暑、
 台風と自然災害に悩まされた年でした。
 被災された皆様にお見舞い申し上げます。
 災害に備え、当院の地域の役割として、
 地域住民の災害時の安全を守るための公報
 活動を発信する大切さを痛感しました。今
 後は何らかの形にしていまいります。
 私事ですが、2018年秋の叙勲にて瑞宝
 双光章を受章致しました。職員の協力があ
 ったの賜物です。この場をおかりして御礼
 申し上げます。



編集後記： まだまだ寒い日が続きますが、体調管理にお気をつけ下さい。今年も皆様楽しんでい
 いただけるようなほれほれレターを作成できるよう頑張ります。(東阪)

発行者： 中村仁信(病院長) 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
 編集長： 福西康修(放射) TEL072(641)6898 Fax072(641)6097
 編集委員： 村井祐子(医師) 岩切昭夫(看護) 松澤圭介(看護) 常島啓司(情報)
 志田原直子(医事課) 東阪真希(放射)

このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい
<http://www.saito-yukoukai-hp.jp/index.htm>
 「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

